

水道スマートメーターでDX

NTTBと共同で 富士市と協定締結

NTTテレコン中部支店

NTTテレコン中部支店（愛知県名古屋市長、富士市（静岡県富士市、小長井義正市長）、NTTビジネスソリューションズ（BS）静岡ビジネス営業部（静岡県浜松市、瀬戸伸亮取締役営業部長）は2月10日、

「富士市における水道スマートメーターを活用した水道事業の課題解決に向けた

実証実験に関する協定」を締結した。

地方自治体における公共施設や道路、水道などのインフラ整備に関わる事業費などは増加傾向にあるとともに、その事業に携わる人材は慢性的に不足しており、DXによる業務効率化が急務となっている。

今回の協定では、富士市における上下水道業務のDX化に向け、水道メーターの遠隔検針の実証実験を始め、各種の検証を行う。

具体的には、NTTテレコンの通信端末と水道管に設置した電子式水道メーターを接続し、集中監視セン

ターを介して、水道メーターの遠隔監視機能や漏水警報機能を活用し設備状況を把握する。

また、昨今の気候変動により災害級の大雨が増えたことから、NTTテレコンの通信端末と冠水センサーを活用しマンホール内の浸水量を検知、溢水を事前に把握して速やかに対策を実施できるようにする。

実証を通じて業務の稼働削減や災害対策について定量的・定性的に効果測定を実施する。実証は、準備期間をへて今年5月から始

来年7月まで行われる。必要により実証を継続する予定。

2月10日の協定締結式には、小長井市長はじめ、小林NTTテレコン中部支店長、瀬戸NTTBS静岡ビジネス営業部長が出席し、協定書に署名した。